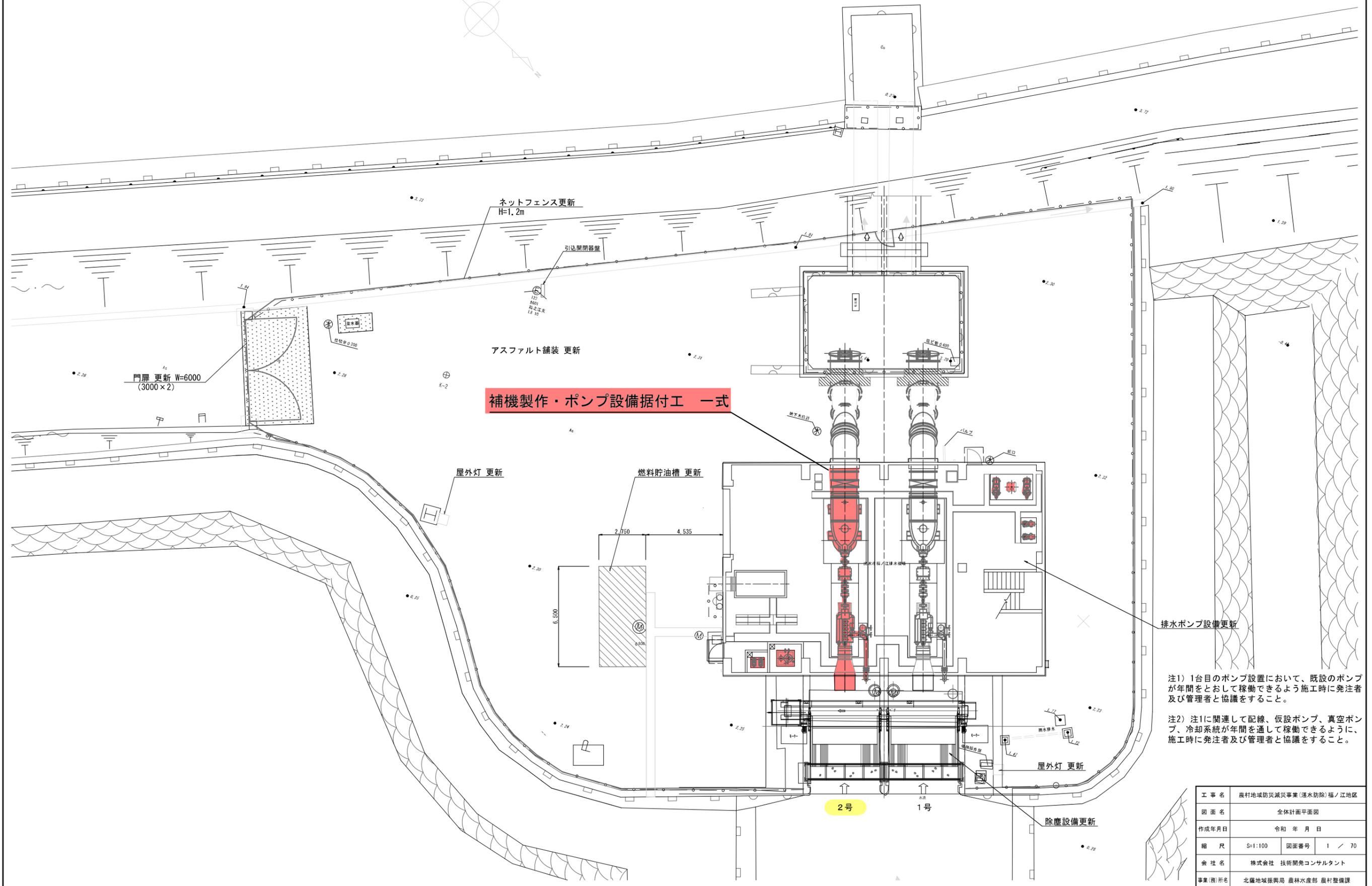


農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区
 全体計画平面図 S=1:100



注1) 1台目のポンプ設置において、既設のポンプが年間をととして稼働できるように施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

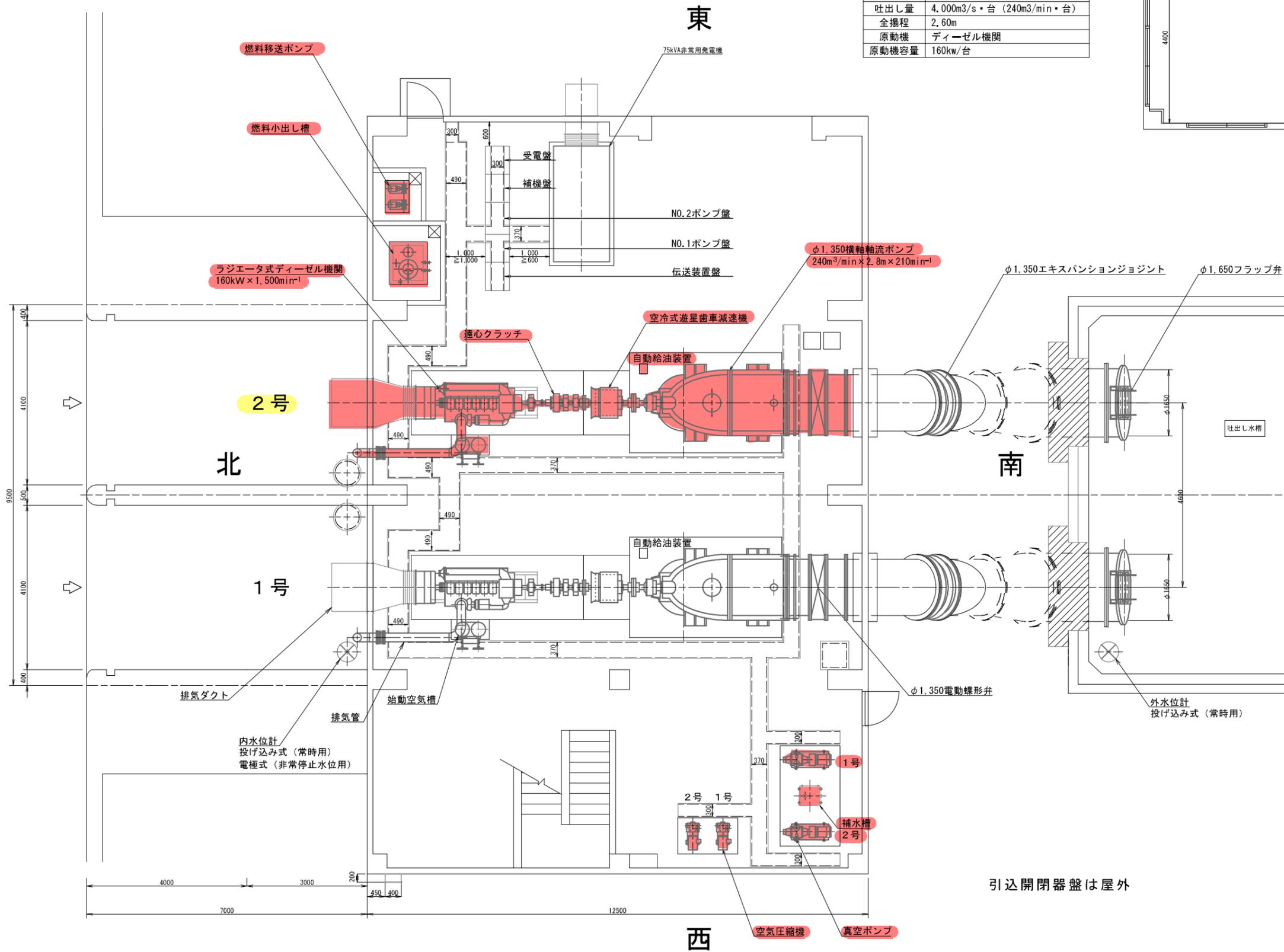
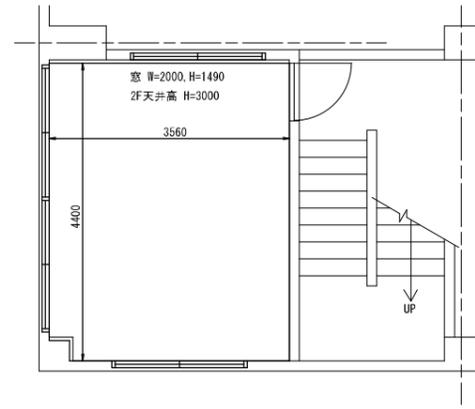
注2) 注1に関連して配線、仮設ポンプ、真空ポンプ、冷却系統が年間を通して稼働できるように、施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

工事名	農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区		
図面名	全体計画平面図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	S=1:100	図面番号	1 / 70
会社名	株式会社 技術開発コンサルタント		
事業(務)所名	北薩地域振興局 農林水産部 農村整備課		

農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区
一般平面図 S=1:50

主ポンプ仕様

ポンプ型式	横軸軸流ポンプ (I型)
ポンプ口径	φ1350mm
吐出量	4,000m ³ /s・台 (240m ³ /min・台)
全揚程	2.60m
原動機	ディーゼル機関
原動機容量	160kw/台



注1) 1台目のポンプ設置において、既設のポンプが年間をとおして稼働できるように施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

注2) 注1に関連して配線、仮設ポンプ、真空ポンプ、冷却系統が年間を通して稼働できるように、施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

工事名	農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区		
図面名	一般平面図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	S=1:50	図面番号	2 / 70
会社名	株式会社 技術開発コンサルタント		
事業(務)所名	北薩地域振興局 農林水産部 農村整備課		

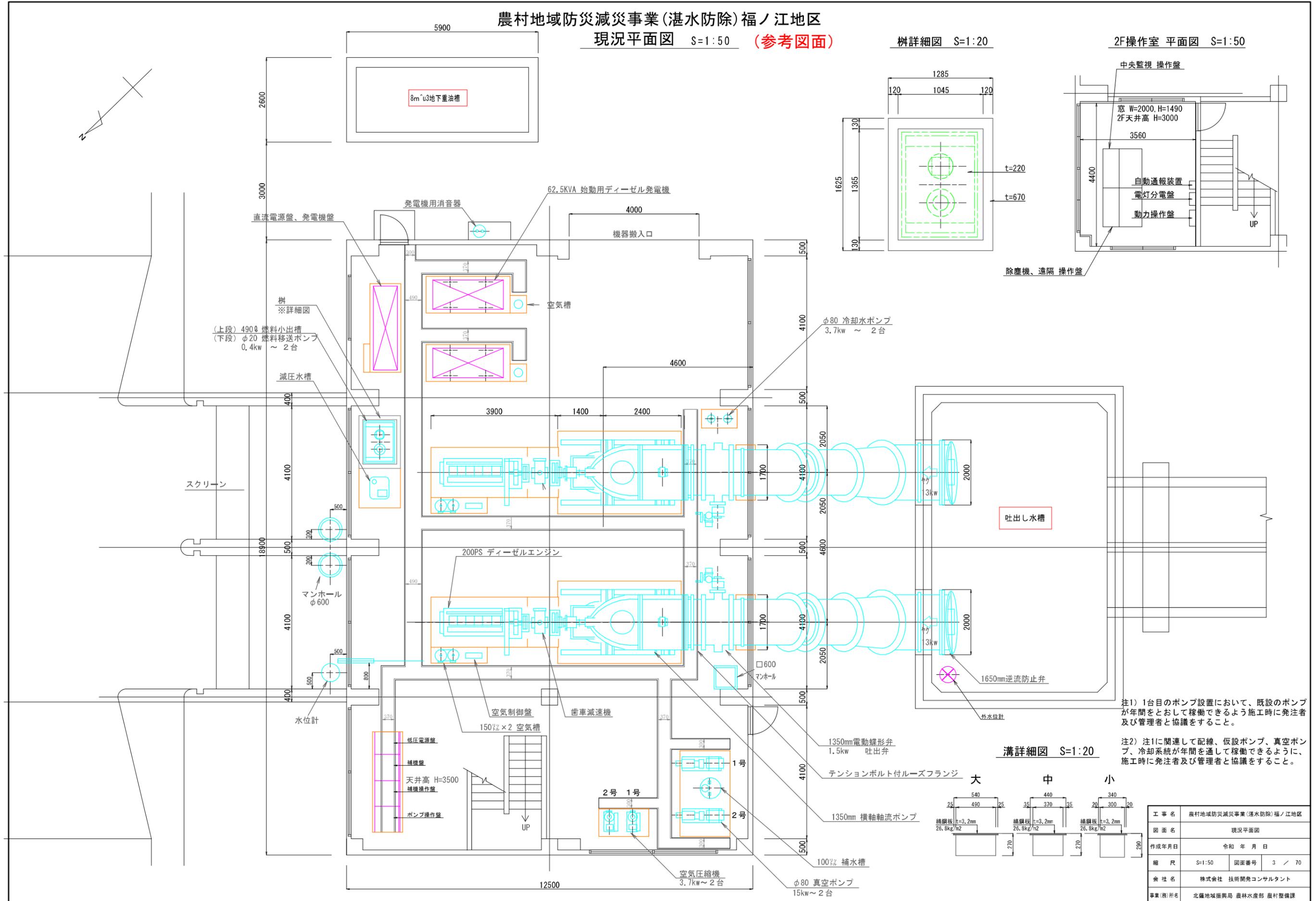
引込開閉器盤は屋外

農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区

現況平面図 S=1:50 (参考図面)

樹詳細図 S=1:20

2F操作室 平面図 S=1:50



注1) 1台目のポンプ設置において、既設のポンプが年間をとおして稼働できるように施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

注2) 注1)に関連して配線、仮設ポンプ、真空ポンプ、冷却系統が年間を通して稼働できるように、施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

工事名	農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区		
図面名	現況平面図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	S=1:50	図面番号	3 / 70
会社名	株式会社 技術開発コンサルタント		
事業(務)所名	北薩地域振興局 農林水産部 農村整備課		

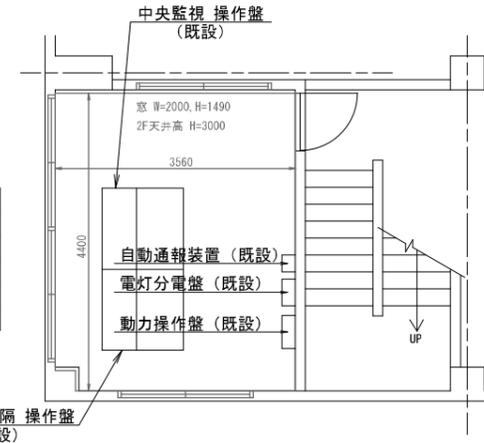
農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区

2号ポンプ設置後平面図 S=1:50 (参考図面)

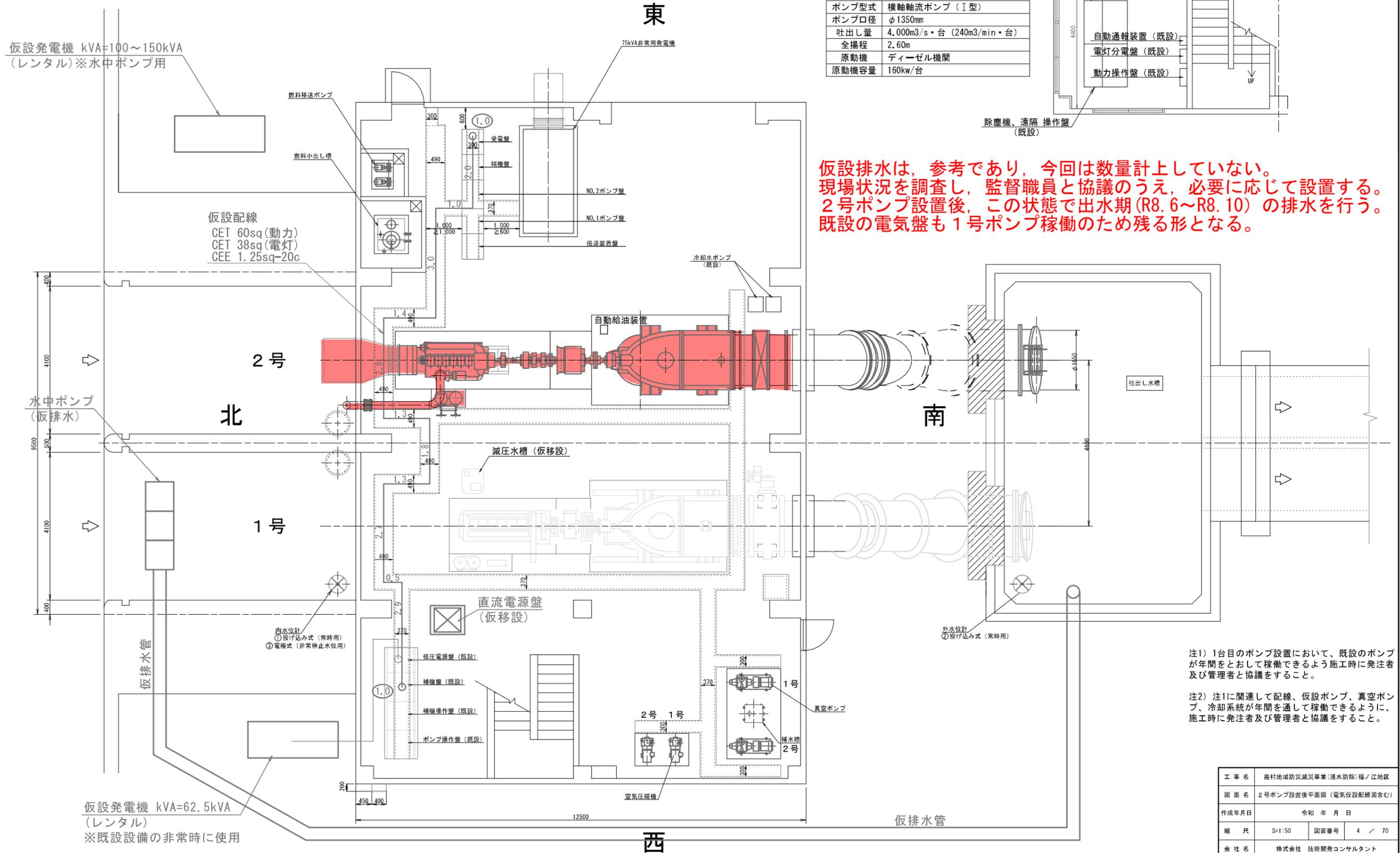
(電気仮設配線図含む)

主ポンプ仕様

ポンプ型式	横軸軸流ポンプ (I型)
ポンプ口径	φ1350mm
吐出量	4,000m ³ /s・台 (240m ³ /min・台)
全揚程	2.60m
原動機	ディーゼル機関
原動機容量	160kw/台



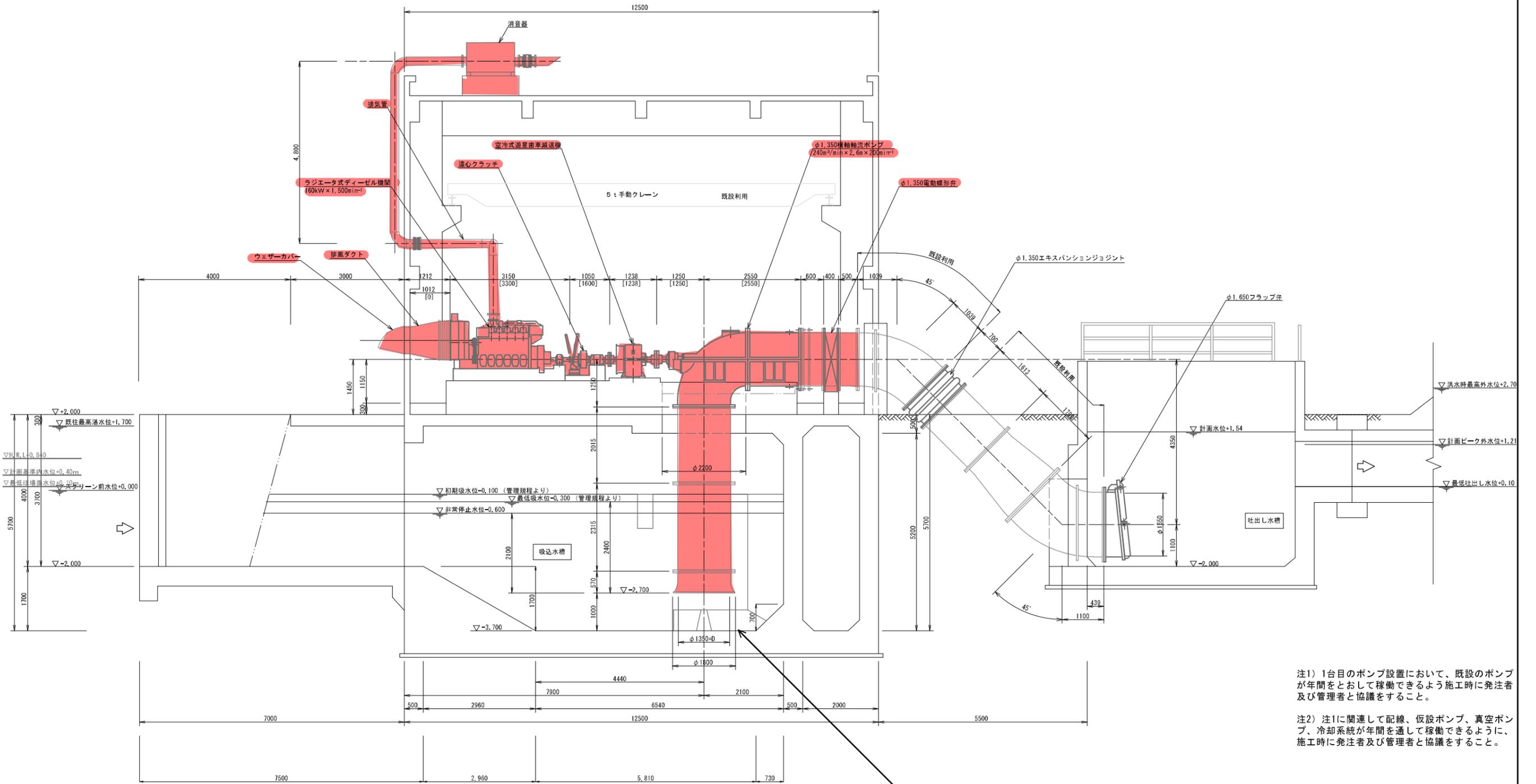
仮設排水は、参考であり、今回は数量計上していない。
現場状況を調査し、監督職員と協議のうえ、必要に応じて設置する。
2号ポンプ設置後、この状態で出水期(R8.6~R8.10)の排水を行う。
既設の電気盤も1号ポンプ稼働のため残る形となる。



注1) 1台目のポンプ設置において、既設のポンプが年間をとおして稼働できるよう施工時に発注者及び管理者と協議をすること。
注2) 注1)に関連して配線、仮設ポンプ、真空ポンプ、冷却系統が年間を通して稼働できるように、施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

工事名	農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区		
図面名	2号ポンプ設置後平面図(電気仮設配線図含む)		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	S=1:50	図面番号	4 / 70
会社名	株式会社 技術開発コンサルタント		
事業(務)所名	北薩地域振興局 農林水産部 農村整備課		

農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区
一般断面図 S=1:50



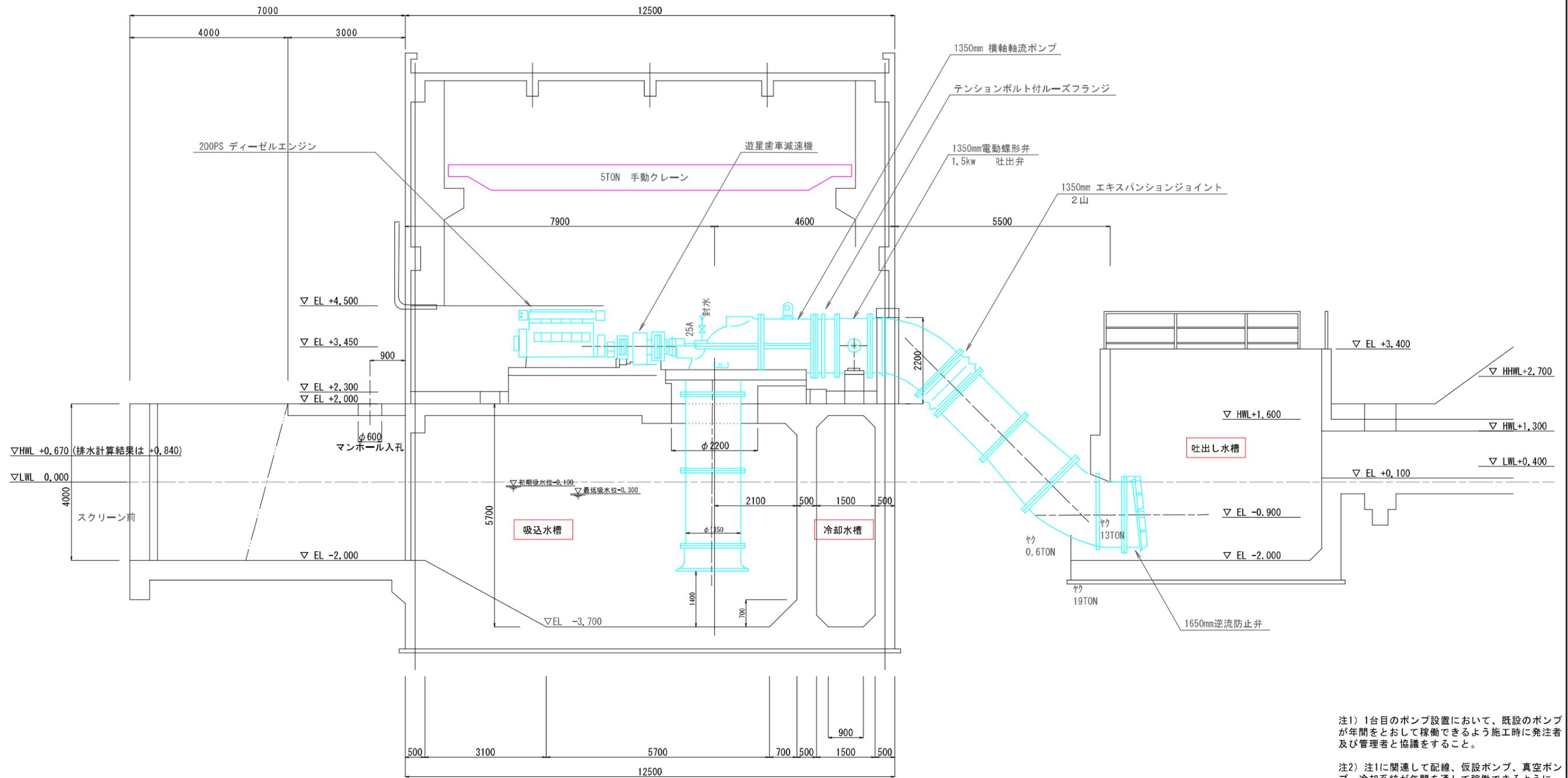
注1) 1台目のポンプ設置において、既設のポンプが年間をととして稼働できるよう施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

注2) 注1)に関連して配線、仮設ポンプ、真空ポンプ、冷却系統が年間を通して稼働できるように、施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

本工区当初段階では、過流防止板は未計上。
除塵設備設置工事又は本工区にて、変更で追加する
予定である。

工事名	農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区		
図面名	一般断面図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	S=1:50	図面番号	5 / 70
会社名	株式会社 技術開発コンサルタント		
事業(務)所名	北薩地域振興局 農林水産部 農村整備課		

農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区
 現況断面図 S=1:50 (参考図面)

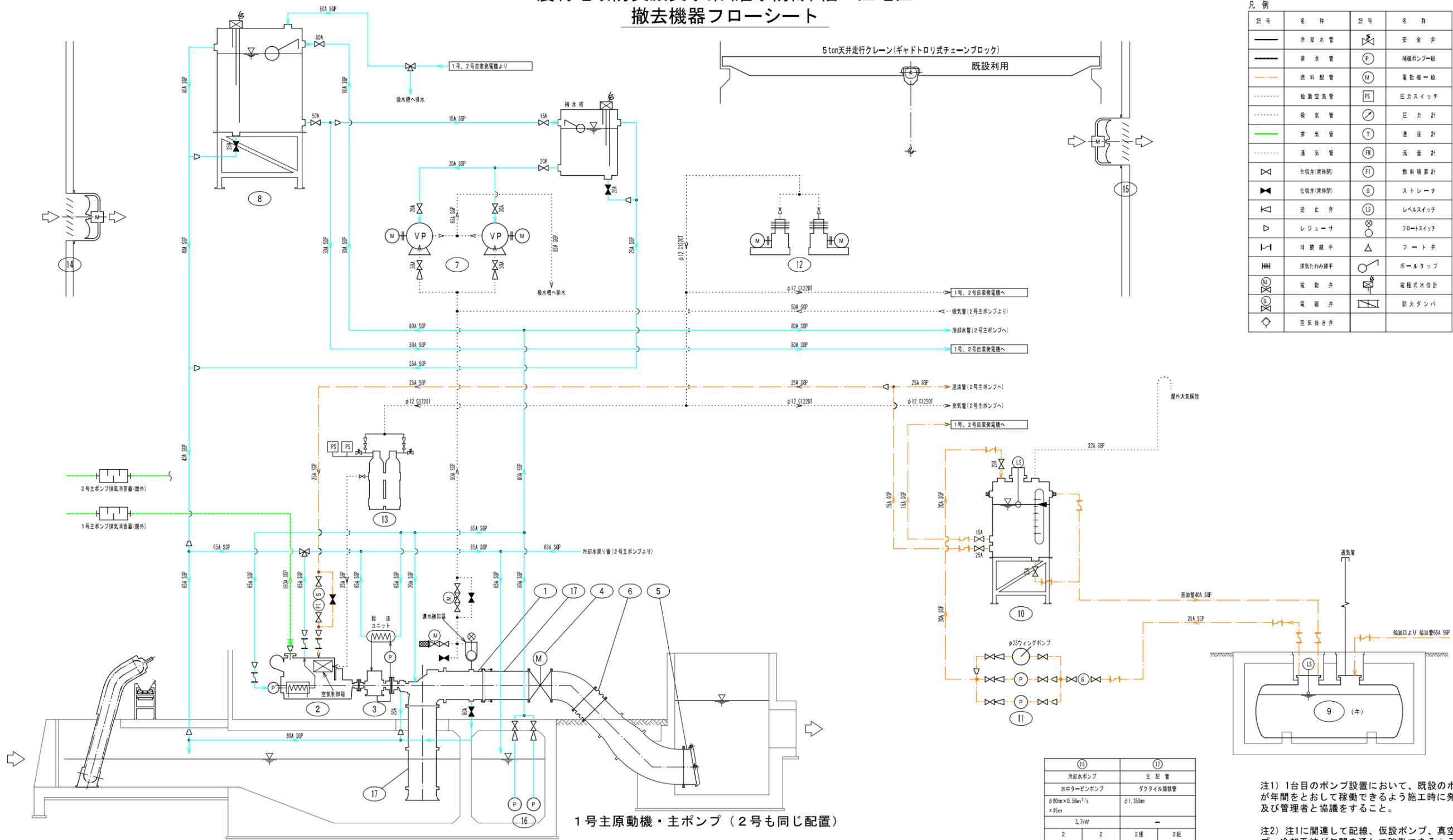


注1) 1台目のポンプ設置において、既設のポンプが年間をととして稼働できるよう施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

注2) 注1に関連して配線、仮設ポンプ、真空ポンプ、冷却系統が年間を通して稼働できるように、施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

工事名	農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区		
図面名	現況断面図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	S=1:50	図面番号	6 / 70
会社名	株式会社 技術開発コンサルタント		
事業(務)所名	北薩地域振興局 農林水産部 農村整備課		

農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区 撤去機器フローシート



凡例

記号	名称	記号	名称
—	冷却水管	⊗	安全弁
—	排水管	⊕	増設ポンプ一般
—	燃料配管	⊙	電動機一般
⋯	補助空気管	⊞	圧力スイッチ
⋯	吸気管	⊚	圧力計
—	排気管	⊖	温度計
⋯	通気管	⊞	流量計
⊗	仕切弁(常時閉)	⊞	燃料消費計
⊘	仕切弁(常時開)	⊞	ストレーナ
⊞	送止弁	⊞	レベルスイッチ
⊞	レギュレータ	⊞	フロートスイッチ
⊞	可撓継手	⊞	フート弁
⊞	排気たわみ継手	⊞	ボールタップ
⊞	電動弁	⊞	電機式水位計
⊞	電動弁	⊞	防火ダンパ
⊞	空気抜き弁		

1号主原動機・主ポンプ（2号も同じ配置）

撤去機器一覧

機器番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
機器名称	主ポンプ	主原動機	番車送達機	吐出弁	送止弁	可撓管	真空ポンプ	減圧水塔	屋外燃料貯油槽	燃料小出し槽	燃料移送ポンプ	空気圧縮機	給油空気槽	給油ファン	排気ファン
形式	横軸軸流ポンプ	ディーゼル機関	逆巻車送達機	電動機形弁	フラップ弁	PEFゴム可撓管	水封式真空ポンプ	鋼板製角形貯水塔	地下埋2重殻タンク	鋼板製角形燃料タンク	巻車ポンプ	2段空冷圧縮機	鋼板製高圧空気槽	壁掛形有圧扇	壁掛形有圧扇
仕様	φ1,350mm×240mm ³ / _{min} ×2,20m	200PS		φ1,350mm×L850mm	φ1,650mm×4枚弁丸形	φ1350mm×L700mm	φ80mm×8.0m ³ /min ×巻速=30m/min	有効貯水量300L	貯容量8,000L	有効容量40L	φ200mm×50L/min× 2,5kg/cm ²	17.9m ³ /hr×30kg/cm ²	150L×32kg/cm ² ×2連		
電動機出力	—	初期潤滑油P/L75kW		1.5kW	—	—	15kW	—	—	—	0.4kW	3.7kW	—	0.75kW	1.5kW
数量	全体 2	今回 2	2	2	2	2	2	1	1	1	2	2	4	2	2
備考		給油ユニット付					2台中1台予備 補水槽1基を含む	鋼製架台付	第3石油類(A重油)	第3石油類(A重油) 鋼製架台付	2台中1台予備 φ25mmワイピング付	2台中1台予備	2連中1連予備 ドレン分離機付	機側1m56dB(A)以下	機側1m64dB(A)以下

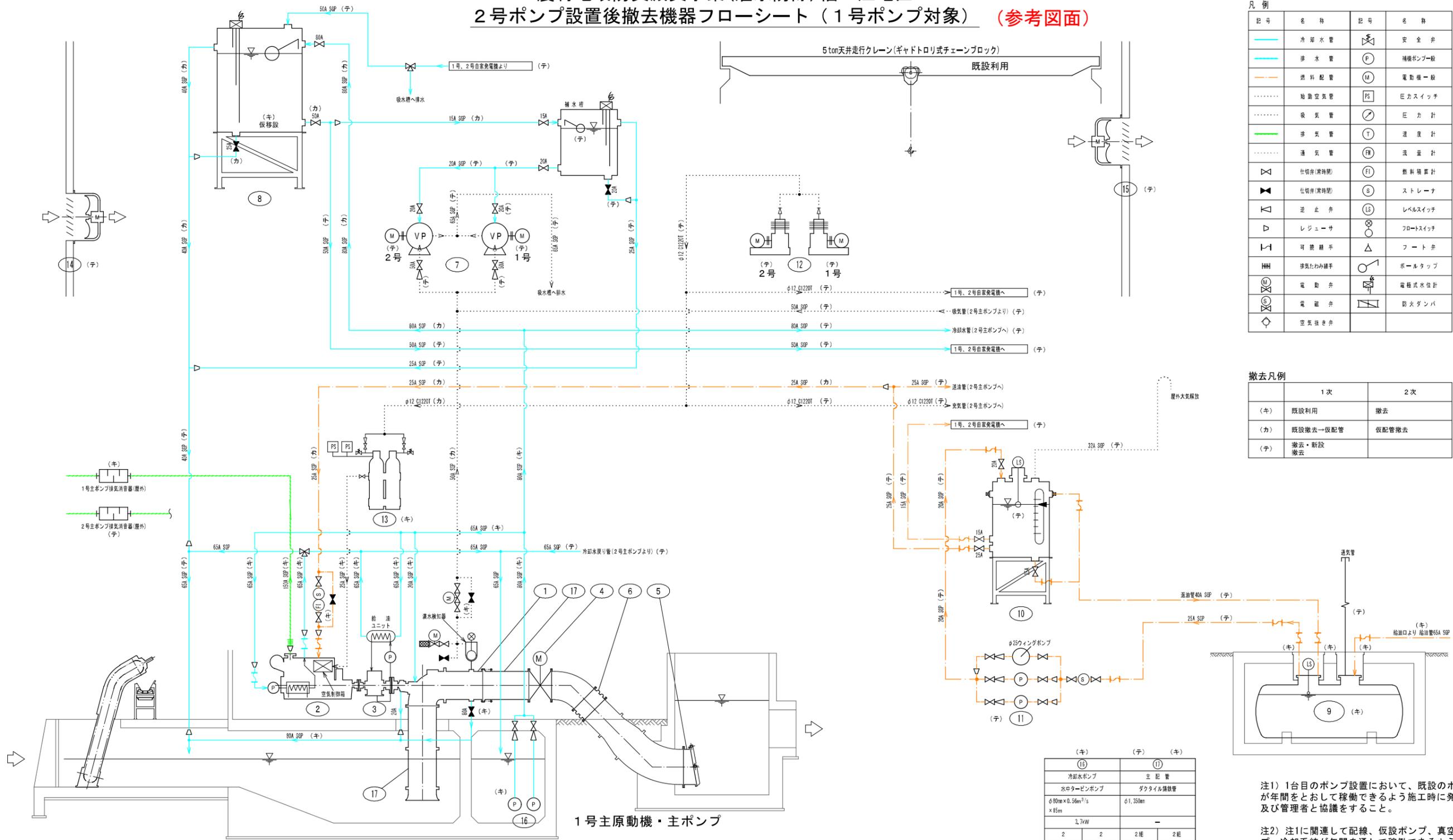
注1) 1台目のポンプ設置において、既設のポンプが年間を通して稼働できるように施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

注2) 注1)に関連して配線、仮設ポンプ、真空ポンプ、冷却系統が年間を通して稼働できるように、施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

配管については、現状の配管と当初設計に差異が生じている恐れがあり、配管の撤去および仮配線については、再度調査を行った上で施工を行うこと。

工事名	農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区		
図面名	撤去機器フローシート		
作成年月日	令和	年月	日
縮尺	—	図面番号	7 / 70
会社名	株式会社 技術開発コンサルタント		
事業(務)所名	北薩地域振興局 農林水産部 農村整備課		

農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区 2号ポンプ設置後撤去機器フローシート (1号ポンプ対象) (参考図面)



凡例

記号	名称	記号	名称
	冷却水管		安全弁
	排水管		増設ポンプ一般
	燃料配管		電動機一般
	補助空気管		圧力スイッチ
	吸気管		圧力計
	排気管		温度計
	通気管		流量計
	仕切弁(常時閉)		燃料流量計
	仕切弁(常時開)		ストレーナ
	逆止弁		レベルスイッチ
	レギュレータ		フロースイッチ
	可撓継手		フット弁
	排気たわみ継手		ボールタップ
	電動弁		電極式水位計
	電磁弁		防火ダンパ
	空気抜き弁		

撤去凡例

	1次	2次
(キ)	既設利用	撤去
(カ)	既設撤去一仮配管	仮配管撤去
(チ)	撤去・新設 撤去	

撤去機器一覧

機器番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
機器名称	主ポンプ	主原動機	番車送達機	吐出弁	逆止弁	可撓管	真空ポンプ	減圧水塔	燃料貯油槽	燃料小出し槽	燃料移送ポンプ	空気圧縮機	給油空気槽	給油ファン	排気ファン
仕様	φ1,350mm×240mm ³ / _{min} ×2,20m	200PS	初期潤滑油PLQ,75kW	φ1,350mm×L,850mm	φ1,650mm×4枚弁丸形	φ1350mm×L,700mm	φ80mm×8,0m ³ /min ×最高=30m/min	有効貯水量300L	地下埋2重殻タンク 貯容量8,000L	鋼板製丸形燃料タンク 有効容量40L	巻揚ポンプ φ20mm×50L/min× 2,5kg/cm ²	2段空冷立形圧縮機 17,9m ³ /hr×30kg/cm ²	鋼板製立空気槽 150L×32kg/cm ² ×2連	鋼板製有圧箱	鋼板製有圧箱
電動機出力	-	初期潤滑油PLQ,75kW	初期潤滑油PLQ,75kW	1,5kW	-	-	15kW	-	-	-	0,4kW	3,7kW	-	0,75kW	1,5kW
数量	全体 2	今回 2	2	2	2	2	2	2	1	1	2	2	2	4	2
備考	(キ)	(チ)	(キ)	(チ)	(キ)	(チ)	(キ)	(チ)	(キ)	(チ)	(キ)	(チ)	(キ)	(チ)	(キ)

注1) 1台目のポンプ設置において、既設のポンプが年間をととして稼働できるよう施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

注2) 注1)に関連して配線、仮設ポンプ、真空ポンプ、冷却系統が年間を通して稼働できるように、施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

配管については、現状の配管と当初設計に差異が生じている恐れがあり、配管の撤去および仮配線については、再度調査を行った上で施工を行うこと。

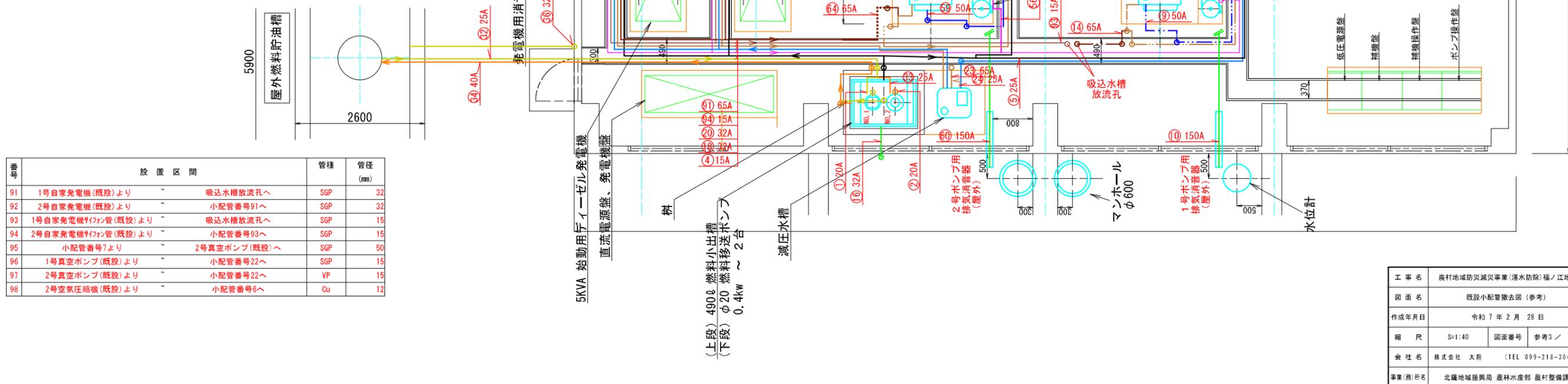
工事名	農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区
図面名	2号ポンプ設置後撤去機器フローシート(1号ポンプ対象)
作成年月日	令和 年 月 日
縮尺	- 図面番号 8 / 70
会社名	株式会社 技術開発コンサルタント
事業(務)所名	北薩地域振興局 農林水産部 農村整備課

番号	設置区間	管種	管径 (mm)
1	1号燃料移送ポンプ(既設)より 燃料小出し槽(既設)へ	SGP	20
2	2号燃料移送ポンプ(既設)より 燃料小出し槽(既設)へ	SGP	20
3	燃料小出し槽(既設)より 1号自家発電機(既設)へ	SGP	15
4	小配管番号3より 2号自家発電機(既設)へ	SGP	15
5	小配管番号55より 1号ディーゼルエンジン(既設)へ	SGP	25
6	1号空気圧縮機(既設)より 1号ディーゼルエンジン(既設)空気槽へ	Cu	12
7	主1号ポンプ(既設)より 1号真空ポンプ(既設)へ	SGP	50
8	冷却水ポンプ配管下流部より 小配管番号11へ	SGP	80
9	小配管番号8より 1号ポンプディーゼルエンジン(既設)へ	SGP	65
10	1号ポンプディーゼルエンジン(既設)より 排気消音機(既設)へ	SGP	150
11	小配管番号8より 歯車減速機給油ユニット(既設)へ	SGP	25
12	歯車減速機給油ユニット(既設)より 冷却水槽放流管(既設)へ	SGP	25
13	1号ポンプディーゼルエンジン(既設)より 冷却水槽放流孔へ	SGP	65
14	1号ポンプディーゼルエンジン(既設)より 吸込水槽放流孔へ	SGP	65
15	小配管番号8より 主1号ポンプ(既設)へ	SGP	20
16	燃料小出し槽(既設)の屋外大気開放管	SGP	32
17	減圧水槽(既設)より 1号自家発電機(既設)へ	SGP	32
18	小配管番号17より 2号自家発電機(既設)へ	SGP	32
19	1号自家発電機(既設)より 減圧水槽(既設)へ	SGP	32
20	2号自家発電機(既設)より 小配管番号19へ	SGP	32
21	小配管番号8より 補水槽(既設)へ	SGP	32
22	補水槽(既設)より 吸込水槽放流孔への配管へ	SGP	32
23	減圧水槽(既設)より 吸込水槽放流孔へ	SGP	65
24	減圧水槽(既設)底部より 吸込水槽放流孔への配管へ	SGP	25
25	補水槽(既設)より 1号真空ポンプ(既設)へ	SGP	25
26	補水槽(既設)より 2号真空ポンプ(既設)へ	SGP	25
27	小配管番号6より 1号自家発電機(既設)へ	Cu	12
28	小配管番号27より 2号自家発電機(既設)へ	Cu	12
30	1号真空ポンプ(既設)より 吸込水槽放流管(既設)へ	SGP	80
32	屋外燃料貯油槽(既設)より 1号燃料移送ポンプ(既設)へ	SGP	25
33	小配管番号32より 2号燃料移送ポンプ(既設)へ	SGP	25
34	燃料小出し槽(既設)より 屋外燃料貯油槽(既設)へ	SGP	40
35	燃料小出し槽(既設)底部より 配管番号34小配管(40A)に接続	SGP	25
36	屋外燃料貯油槽(既設)の通気管	SGP	32
55	燃料小出し槽(既設)より 2号ディーゼルエンジン(既設)へ	SGP	25
56	小配管番号6より 2号ディーゼルエンジン(既設)空気槽へ	Cu	12
57	主2号ポンプ(既設)より 主2号ポンプ(既設)へ	SGP	50
58	小配管番号8より 減圧水槽(既設)へ	SGP	80
59	小配管番号58より 2号ポンプディーゼルエンジン(既設)へ	SGP	65
60	2号ポンプディーゼルエンジン(既設)より 排気消音機(既設)へ	SGP	150
61	小配管番号58より 歯車減速機給油ユニット(既設)へ	SGP	25
62	歯車減速機給油ユニット(既設)より 冷却水槽放流管(既設)へ	SGP	25
63	2号ポンプディーゼルエンジン(既設)より 冷却水槽放流孔へ	SGP	65
64	2号ポンプディーゼルエンジン(既設)より 吸込水槽放流孔へ	SGP	65
65	小配管番号58より 主2号ポンプ(既設)へ	SGP	20

- ※色の説明
 変更
 新設→既設への変更
 流向変更
 追加
- ※線種の説明
 一次で撤去(実線)
 二次で撤去(破線)
 埋設部(点線)

農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区 既設小配管撤去図 S=1:40

※施工にあたっては、図面により現地を確認・調査し、
 図面上の位置や数量と現地の状況が乖離がないか確認の
 うえ施工すること。



番号	設置区間	管種	管径 (mm)
91	1号自家発電機(既設)より 吸込水槽放流孔へ	SGP	32
92	2号自家発電機(既設)より 小配管番号91へ	SGP	32
93	1号自家発電機サイパン管(既設)より 吸込水槽放流孔へ	SGP	15
94	2号自家発電機サイパン管(既設)より 小配管番号93へ	SGP	15
95	小配管番号7より 2号真空ポンプ(既設)へ	SGP	50
96	1号真空ポンプ(既設)より 小配管番号22へ	SGP	15
97	2号真空ポンプ(既設)より 小配管番号22へ	VP	15
98	2号空気圧縮機(既設)より 小配管番号6へ	Cu	12

工事名	農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区
図面名	既設小配管撤去図(参考)
作成年月日	令和7年2月28日
縮尺	S=1:40 図面番号 参考3 / 70
会社名	株式会社 大用 (TEL 099-218-3041)
事業(務)所名	北薩地域振興局 農林水産部 農村整備課